

第9次愛知県卸売市場整備計画について

計画期間

平成23年度
～平成27年度

卸売市場を
めぐる現状

・卸売市場をめぐっては、少子高齢化による社会構造の変化、農水産物の生産構造の脆弱化、食料消費・小売形態の変化や消費者ニーズの多様化、食の安全や環境問題を始めとする社会的要請の高まり等、環境の変化が著しい。
・県では、卸売市場の整備、運営の基本となる第9次愛知県卸売市場整備計画を策定し、課題への取組を進めている。

第9次整備計画策定時における現状と課題

生産・出荷の大型化の進展に伴う中央卸売市場とその他の卸売市場の格差の拡大

食品の品質に対する関心の高まりや鮮度保持技術の進歩に対応した卸売市場施設整備と品質管理の徹底の要請

大規模小売業者・外食産業事業者等からの、大量安定取引や加工処理機能、貯蔵・保管機能及び輸送・搬送機能の強化の要請

需要の小口化・食の簡便化の進展など、消費者ニーズの更なる多様化

情報通信技術の進展が、生鮮食料品の流通や消費動向に影響

食の安全や環境問題等の社会的要請への適切な対応

生産者による直売方式や、大規模小売業者等による直接買付等の増加による市場経由率の減少

第9次整備計画における課題への対応方針

1 卸売市場の適正な配置の推進
・引き続き地方卸売市場の整備・統合を推進
・開設者、卸売業者や仲卸業者経営の改善・安定を図る

2 地方卸売市場の機能強化

(1) 地域に密着した生鮮食料品等流通への支援
・循環型社会への対応
・新鮮・安全志向等の消費者ニーズへの対応
・生産者、実需者や消費者との交流や連携を通じた地域に密着した生鮮食料品等の流通の取組の推進

(2) 公正かつ効率的な取引の実施
・出荷の大型化や取引の安定化の要望に応えるため、多様なニーズに対応し得る取引方法の設定による適切な価格形成
・相対取引が増えている中での透明性の高い取引情報の提供

(3) 場内物流施設の充実と品質管理の高度化の推進
・コールドチェーンシステムの構築
・鮮度・品質を保持できる物品管理体制の強化
・保管・加工処理・配送施設等の整備を推進

(4) 情報化の推進
・産地や消費地への情報提供機能の強化
・より高度な情報の発信やシステムの構築の推進

(5) 集荷・販売力の強化
・集荷・販売活動における市場間連携の推進
・消費者ニーズに応える商品作りのための情報受発信機能の強化

(6) 市場運営体制の整備
地域性や個々の課題等を踏まえた卸売市場全体の経営戦略の確立

丸数字は、対応する課題の番号を示す

課題への取組状況（現状）

1
・卸売市場数は廃業等により減少
71市場（H22）→67市場（H26）
・経常損益が赤字の卸売業者
15業者/51業者（H22）→
19業者/49業者（H25）

2 (1)
・通い容器の利用状況
20市場（H22）→19市場（H26）
・木製廃棄パレットの再利用
5市場（H22）→5市場（H26）
・生ゴミの再資源化
2市場（H22）→7市場（H26）
・衛生施設の設置状況
6市場（H26）
・加工処理施設の設置状況
7市場（H26）

2 (1) (3)
低温（定温）卸売場の設置状況
10市場（H22）→14市場（H26）

2 (3)
・品質管理に関する責任者の設置状況
10市場（H22）→21市場（H26）
・品質管理の高度化に向けた規範の策定状況
11市場（H26）

2 (2) (4)
Webページの公開状況
29市場（H26）

2 (5)
・他市場との業務提携等の状況
9市場（H22）→8市場（H26）

2 (6)
経営方針の公開状況
9市場（H26）

項目番号は、対応する課題への対応方針を示す